

土木のイメージ一新へ。 山口県下関市の新社長が故郷を想う 新聞広告を地元メディアに出稿。

2025年4月、山口県下関市の土木会社、株式会社サンスパックの代表取締役役に山本晃平が就任しました。就任に合わせ、創業105年を迎える同社のミッション・ビジョン・バリューを新たに策定。お盆時期の8月13日には、「故郷を守る」という土木の根源的な価値を改めて表した新聞広告を出稿。土木のイメージを下関から一新すべく、挑戦を始めています。

土木に「美しさ」を。社が進むべき方向を明確に定めた 新ミッション・ビジョン・バリュー・ロゴマーク

第4代社長となる山本晃平は、就任にあたり、105年続くサンスパックの良さは継承しながらも、より良い会社へと進化すべく、まずは同社や業界が抱える課題や改善点の洗い出しに着手。いま、土木に必要なのは、そのイメージと離れたところにある「美しさ」なのではないか。そう考えた山本は、社内外に向けて「美しい土木へ。」というスローガンを提示。その美しさが意味するものが、仕上がりだけでなく、むしろ、目の前の仕事に向かう姿勢や相手を思いやる心であることが伝わるよう、ミッション・ビジョン・バリューも合わせて制定しました。

ステートメント

美しい土木へ。

土木の仕事は、人の命を左右する。
だから私たちは、隅々まで手を抜かない。
ベストを尽くすと、仕事は自ずと美しくなる。
それは、仕上がりだけでなく。
自らを律し、常に相手を思いやる心。
現場やオフィスでの誠実なふるまい。
スキルや個性を磨く日々までも。
そう、私たちが目指すのは、美しい土木。
創業100年を超える「SUNSPAC」が
まず自らを変え、業界を変え、
美しい土木で、これからも故郷を守ります。

Mission

美しい土木で、未来を守る。

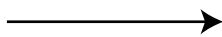
Vision

すべての根底は「ひと」にある。
美しい心で、美しい仕事をし、
美しい集団となることで、
土木のイメージを美しく変える。
そして、美しい土木で、
これからも故郷の安全に貢献する。

Value

1. 安全はすべてに優先し、常に細部までベストを尽くす
2. 客観的かつ柔軟な視点を持ち、物事の本質を捉える
3. 誠実な心で、約束を守り、信頼される存在となる
4. 自らの仕事に誇りを持ち、人として正しい選択を行う
5. 好奇心で動き、挑戦と努力を重ね、常に高みを目指す
6. 地球環境の保全に取り組み、持続可能な未来をつくる
7. 仲間を信じ、共に支え合い、感謝は声に出して伝える

土木と聞いて思い浮かべるイメージが、「茶色」から「白と黒」のクリーンかつ洗練されたものになるよう、キーカラーは白黒に。ロゴマークは、これから先も社が100年続いていくよう思いを込めて、時代に左右されないシンプルで普遍的なデザインを採用しました。地域の安全を守るという変わらない使命を、新しい体制と新しいビジョンのもと、さらに推進していく。そんな決意が表れた一連のリブランディングです。



SUNSPAC



—— 故郷を思うお盆時期に出稿した「故郷」がテーマの新聞広告 ——

さらに、お盆時期の8月13日には、「故郷」をテーマにした新聞広告を、地元メディアである山口新聞に出稿。帰省などで故郷を思う機会が増えるタイミングに合わせ、ふだんあまり意識したことのない土木の大切さや魅力を、「故郷を守る仕事」という切り口で訴求しています。一人ひとりが自分の故郷をイメージできるよう、ビジュアルはグラフィックで制作。故郷を守る強い決意と、守ることで続く未来を、夜明けを感じるグラデーションで表現しています。このグラフィックで展開するInstagramも投稿予定。故郷に対するサンスパックの熱い思いを美しく表現していきます。始まったばかりの「美しい土木」への挑戦にご注目ください。

